

地場産業製品へのユニバーサルデザインの導入  
(中間評価)

質問

回答

E委員	ユニバーサルデザイン (以下UD)ハンドブック配布対象者はどのようになっていますか？	鉄器関係にかぎらず、一般製造業者にも配布しております。
	市民へのUD普及法はどうしていますか？	次年度にビデオ等を制作し、普及を図る予定です。
C委員	意匠登録などについて調査を行っているのですか？	写真を公表したものは登録できません。その他共同試作品については考えていきたいと思っています。意匠登録侵害についてはおそらく問題ないと考えています。詳細な調査については不可能です。抗議が来た際にはそのとき対応します。
D委員	伝統工芸品の良さを活かしたまま、UDを考慮した製品を作ることは可能なのですか？	業者のほうからUD化の要望があります。タンスの場合、取っ手や引き出しの改良、着物以外の衣類の使用を踏まえたサイズ変更などを行うことで対応していきたいと思っています。UD化に特化しすぎてもとの良さを損なわないように気をつけたいと考えております。
A委員	評価に関して、専門家が評価したのですか。実際使用するのは一般の方々なのでそちらの評価もしないといけないと思いますが。	東京事務所のほうで、モニターとして登録されている人に実際使用してもらい意見を聞く予定になっております。
	鉄瓶の重さ、サビの問題の対応はどうなっていますか？	この改善は難しいです。そこで、実際持ち上げなくても使用できるスタイルの提唱や、容量を1リットルに押さえるなどの工夫をして対応しております。
E委員	子供の手に合わせたりなど、子供の心や精神的な面などにもアプローチするのはどうでしょうか？	例えば、同じ碗を作るとしてもそういったところはすぐに考慮できると思います。
F委員	デザイン展の規模はどのくらいですか？	総数 900人、入選者 200人程度です。約 25%ほどの入選率です。
E委員	岩手の特性を活かしたUD化を進めてほしいと思います。	そうしないと、他地域との差別化ができないと思います。その辺りは十分気をつけます。